

松尾 啓子 (1996・産社)

C：福島県スパリゾートハワイアンズ

「りつめい」で募集を見て「今まで行こう、行きたいと思っていた被災地にやっと思に行くことができる」と真っ先に申込みをしました。

今回のツアーで印象に残ったことは二つあります。一つは「涙」もう一つは「笑顔」です。「涙」は、スパリゾートハワイアンズで支配人から地震後の現地での対応についてお話を伺っていた時に、地元校友の男性が流された涙です。震災後、いかに苦勞をされたか悲しい思いをされたかがその涙に凝縮されていた気がしました。「笑顔」はフラガール達の心からの笑顔です。地震・津波を乗り越えた彼女達に「頑張って下さい」と励ますつもりがかえって笑顔に癒され元氣をもらいました。今回、東北応援ツアーに参加して、以前に被災地の方から伺った言葉を思い出しました。「現在、私たちは四重苦に負われています。地震・津波・原発そして風評被害。皆さんにお願いがあります。どうか私たちのことを忘れないで下さい。震災はまだ終わっていません。」被災地で涙や笑顔にふれ、更に仮設住宅や家が流された大地・がれきの山を目の当たりにし「震災を風化させてはいけない、まだ終わっていない」と改めて感じました。